

算数授業のめあてとポイント

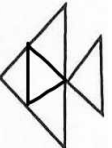
令和7年3月号

東京書籍対応

☆ 思考力・説明力を重視した「単元のめあて」を意識し、「授業のポイント」に留意することで、児童が主体的・対話的に学びを深めて、学力の向上が図られるようにしましょう。

※「単元のめあて」枠内の漢字に、ルビを振っている箇所があります。ひらがなと漢字のどちらを使うかは、学習進度などを勘案して指導者で判断して下さい。

(K・・・啓林館，G・・・学校図書，T・・・東京書籍)

学年	単元	単元のめあてと授業のポイント
1年	2巻 ^⑮ かたちづくり	◎単元のめあて(板書例) いろいろたや ぼうを ^みならべたり うごかしたり せんでつないだりして、 かたちの ひみつを見つけて、はなそう。 ◎授業のポイント - 色板や棒を並べて様々な形を構成したり分解したりする中で、「さんかく」「しかく」が形作られていることや 様々な形の中に「さんかく」「しかく」があるなど、多面的な見方ができるようにする。 - 色板を「ずらす」「回す」「裏返す」と口ずさみながら操作して形を作ることを通して、どんな形(「さんかく」「しかく」)をどのように動かして(「ずらす」「回す」「裏返す」)できているのか、理解したり 向きが変わっても形が同じであることを意識したり できるようにする。 また、実際に△を置いて 向きや数が理解できるようにすることも大切である。 - 棒の数は変えないで 棒の位置を変えることで、形が変わることに気付くようにする。 
	同様単元 K11月 ^⑭ G1月 ^⑭	
	2巻 1ねんの ふくしゅう	◎授業のポイント 1年間に身に付けた知識技能を活用して、1年のまとめができるようにする。 - 理解できていない問題については、児童自身が教科書の該当単元を開いて振り返りながら学習できるようにする。
2年	下巻 ^⑰	2月号参照
	下巻 計算ピラミッド	◎授業のポイント - どのマスから計算すれば良いかを考えて、和や差を順序よく求めることができるようにする。 - きまりを見付けて予測し それを確かめる学習は、4年「変わり方調べ」につながる。
	下巻 2年のふくしゅう	◎授業のポイント 1年間に身に付けた知識技能を活用して、2年のまとめができるようにする。 - 理解できていない問題については、児童自身が教科書の該当単元を開いて振り返りながら学習できるようにする。
3年	下巻 ^⑰ 三角形と角	◎単元のめあて(板書例) 三角形をなかま分けしたり 形をかいたり 作ったりして 二等辺^{とうへん}三角形や正三角形の ひみつを見つけ、せつ明しよう。 ※三角形の弁別(下に記載)の後に、単元のめあて(上に記載)がつかめるようにする。 ◎授業のポイント 図形学習の段階(◎図形を弁別し、形の概念を理解する ◎図形の構成(作図)をする ◎図形の性質を理解する ◎他の図形との関連を理解する)を踏まえて、児童の意識がつながるような単元構成を考える。
	同様単元 K1月 ^⑰ G11月 ^⑬	

		- 仲間分けの観点を話し合う中で、弁別の観点を児童が自ら取り出せるようにする。そして、仲間分けの後に、単元のめあて(上に記載)がつかめるようにする。 - 二等辺三角形や正三角形の 辺の長さのきまりを基に、形を描いたり作ったり できるようにする。 - 角の大小は 辺の長さではなく 角を作る 2つの辺の開き具合で比較することが 理解できるようにする。また、二等辺三角形や正三角形の角について、性質に気付くようにする。 (問題例)  どちらの角が大きいですしょう。 - 敷き詰めることで、三角形と四角形など他の図形との関連に気付くようにする。
	下巻 そろばん 同様単元 K 3 月 G 3 月⑱	◎授業のポイント そろばんのしくみ(5珠)に着目し、指の使い方や珠の運び方には あまりこだわらず、数の多様な見方を用いた計算のしかたを考えることが できるようにする。 $2 + 4 \rightarrow 2 + \textcircled{5} - 1 \qquad 8 - 4 \rightarrow 8 - \textcircled{5} + 1$ $9 + 2 \rightarrow 9 + \textcircled{10} - 8 \qquad 11 - 3 \rightarrow 11 - \textcircled{10} + 7$
	下巻 考える力を のばそう 同様単元 K3年12月 間の数	◎授業のポイント - 問題の場面を図に描いて再現しながら、直線上に配置された場合と円周上に配置された場合について、等間隔に配置されたものの数と その間の数との関係を 考察していくようにする。 - 児童の主体的な学びができるように、以下の算数教育情報を参照する。 【HP 算数教育情報コーナー「文章題のめあてとまとめ 解決の道筋(3年 間の数)」参照】
	下巻 3 年の ふくしゅう	◎授業のポイント - 上巻の教科書を持ってきて、児童自身が 自ら振り返りながら学習できるようにする。 - 単位換算は、各単元に戻って 十分に習熟できるようにする。 - 時間の計算の習熟を 図るようにする。
4 年	下巻⑭	2月号参照
	下巻 考える力をのばそう 同様単元 K5年10月	◎授業のポイント - 必要な情報を取捨選択して その数量関係を図や表を用いて整理し、問題が解決できるようにする。 - 学習指導要領で重視されている 活用力や説明力を伸ばす単元である。
	下巻 算数で読 みところ	◎授業のポイント 1～4 のデータが表している事柄の意味を読み取ってから、各問題に取り組むようにする。 - 目的に応じてグラフなどのデータを選択して問題解決を図る学習は、5年下巻⑱「帯グラフと円グラフ」に発展する。
	下巻 4 年のふ くしゅう	◎授業のポイント - 上巻の教科書を持ってきて、児童自身が 自ら振り返りながら学習できるようにする。 - 概数の求め方や 数の構成について、習熟を図るようにする。
5 年	下巻⑱ 角柱と 円柱	◎単元のめあて(板書例) つつの形を仲間分けしたり 見取図をかいたり てん開図をかいて組み立てたりして 角柱や円柱それぞれの特ちょうや性質を見つけ、説明しよう。

		※筒の形の弁別(下に記載)の後に, 単元のめあて(上に記載)が つかめるようにする。 ・[筒の形の分類と単元のめあて] 立体の意味「箱の形・つつの形・球などの形を, 立体といます。」を知らせ, 筒の形について 底面の形に着目して角柱と円柱に分けられることが理解できるようにする。そして, 単元のめあて(上に記載)が つかめるようにする。 ・[構成要素] 角柱や円柱それぞれの構成要素(面の形と数・辺の長さや数・頂点の数)を捉えて, 表に整理する。 ・[見取図や展開図] 4年の直方体や立方体の描き方を基に, 平行な辺の長さや位置・底面の形や位置に着目して 見取図を描いたり, 辺と辺・辺と面・面と面のつながりを予測して展開図を描いたり組み立てたりすることを通して, 角柱や円柱など筒の形についての理解を深め 空間についての感覚を豊かにすることが大切である。 ・[直方体や立方体と角柱の関係] 直方体や立方体それぞれの 1つの面を底面と見れば, 直方体や立方体は 角柱と見ることができることに 気付くようにする。
	下巻 考える力を のばそう	◎授業のポイント ・必要な情報を取捨選択して その数量関係を図や表を用いて整理し, 問題を解決できるようにする。 ・学習指導要領で重視されている活用力や説明力を伸ばすようにする。
	下巻 算数で読み ところ	◎授業のポイント ・データを 量でみたり 割合でみたりするなど, 観点を変えて整理し 見直してみたりすることで, 結論について 多面的に捉えて考察できるようにする。
	下巻 5年のふ くしゅう	◎授業のポイント ・4年の上下巻 5年の上巻の教科書を持ってきて, 児童自身が 自ら振り返りながら学習できるようにする。
6 年	算数 卒業旅行	◎授業のポイント ・児童の興味関心によって選択して学習し, 算数の楽しさが実感できる単元である。

<お知らせと お願い>

「算数授業のめあてとポイント」や「算数教育 情報コーナー」等を ご覧いただき, 日々の実践に役立てて下さい。

なお, これらについての ご意見ご質問および「算数教育ネットワーク岡山」の活動への参加希望は,
seiden_atmark_po.harenet.ne.jp まで Mail でお知らせ下さい。

(スパム対策です。お手数ですが _atmark_ を, @に直して下さい。)